

# 教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第29号 H30. 9.25

茨城県教育研修センター  
教科教育課  
☎0296-78-3213 (直通)



## 9 / 13 新規採用栄養教諭研修講座第6日を実施しました



AEDパッドは正しい位置に取り付けな  
いとイケないね。

▲講義・実習「救急法」で指導員からの説明を受け、実習に臨む受講者の様子

9月13日(木)、新規採用栄養教諭研修講座第6日を実施しました。講義・実習「救急法」では、日本赤十字社茨城県支部救急法指導員からの説明を受け、心肺蘇生法とAEDの使用方法について実習を行いました。講義「食品の安全性」では、保健福祉部生活衛生課 吉田大輔係長から食中毒やノロウイルス予防について、過去の発生状況のデータをもとに具体的な説明をいただきました。講義「アレルギーへの対応」では、国立東海病院 松井猛彦医師より、気管支喘息の治療法や食物アレルギーの対応について説明をいただきました。講義の中では、座布団にアドレナリン自己注射を打つ体験も行いました。学校現場で必要となる知識をしっかりと学ぶことができました。

### <受講者の感想より>

- 救急法やアレルギーへの対応等、普段学ぶことのできない貴重な研修でした。児童生徒の命を守るという意識を常にもち、職務にあたりたいと思います。
- アドレナリン自己注射を打ち、その衝撃を直に実感できたので、実際に打つ機会がある時でも過度に驚かないと思いました。喘息と食物アレルギーが組み合わさると重症化にしやすい等、因果関係を確認できたので大変良かったです。
- 救急法の実習では、もし救命が必要な場に居合わせた時に冷静に判断し蘇生を行えると思いました。救急法はその場で行うことがたくさんあるので、定期的に研修を受けるなどして復習する必要があると思いました。また、養護教諭と連携して事故の予防・対応に努めていきたいと思っています。



▲講義「アレルギーへの対応」  
国立東海病院 松井 猛彦医師



アドレナリン自己注射を打つと手に受ける衝撃がすごいね。

▲座布団にアドレナリン自己注射を打つ  
受講者の様子

毎月19日は食育の日です。児童生徒に望ましい食習慣を身に付けることができるように食育を推進していきましょう。

